

## 第4回水稲病害虫発生予察結果(伊豆市内)



### 4月下旬～5月上旬田植えの早生品種(コシヒカリ等)

#### 【稲の生育状況と栽培管理について】

コシヒカリ等の早生品種では調査地区により、幼穂の長さに違いが出ております。中伊豆地区・天城地区は平均で0.6cm～1cm(出穂まで約20日)、修善寺地区では1.95cm～2.9cm(出穂まで約15日～16日)と予測されます。幼穂の生育は地域によって差が出ているため、穂肥を施用される方は自分の田んぼで幼穂の長さを確認してから穂肥の施用をお願いいたします。

また、幼穂の生長には水が必要となります、水が不足すると幼穂の生育に遅れや稔実が悪くなる可能性が高まります。幼穂の形成が確認できた方で中干しを行っている方は、間断灌水を行うようにしてください。穂肥のタイミング、幼穂の確認方法、間断灌水の方法についても、第3回水稲病害虫発生予察結果をご参照ください。

#### 【早生品種：病害虫の発生状況】

今回の調査では病害虫につきましては確認されませんでした。

### 5月中旬～下旬田植えの中晩生品種(きぬむすめ・あいちのかおりSBL)

#### 【稲の生育状況と栽培管理について】

現在の分けつ数は20本を上回っています。分けつ本数が20本を確保できていれば中干しの適期となりますので、中干しを開始してください。田んぼに軽くヒビが入る程度まで行ってください。中干しの際に使う除草剤として「バサグラン粒剤」があります。使用の際は、田んぼを落水状態(足跡に水が少し残る程度)にして散布を行ってください。また、散布後2～3日に田んぼに水を入れたり雨が降ってしまうと効果が低下しますので、**散布後3日間は雨の降らない日を狙って**散布してください。

薬剤名	使用時期	使用方法	使用量	使用回数
バサグラン粒剤 3kg	移植後15～55日 (ただし収穫60日前まで)	落水散布または ごく浅く湛水して散布	3～4kg/10a	1回

#### 【中晩生品種：病害虫の発生状況】

今回の調査では病害虫につきましては確認されませんでした。

**前回の予察結果・栽培管理は  
こちらからご覧になれます！  
次回予察予定 7月8日  
(雨天中止)**



作成日：令和6年7月2日  
JAふじ伊豆修善寺営農経済センター  
担当：竹村  
電話：0558-72-4461